



2015年5月11日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘  
(コード番号 4410 東証第一部)  
問合せ先 常務取締役 金城 照夫  
(TEL . 06-6201-2461)

2015年3月期連結業績予想値と実績値との差異および  
営業外費用(為替差損) 特別損失の計上に関するお知らせ

2014年10月31日に公表しました2015年3月期連結会計年度(2014年4月1日~2015年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたこと、また、営業外費用(為替差損) 特別損失の計上をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

・業績予想値と決算における実績値との差異について

2015年3月期連結会計年度業績予想と実績の差異(2014年4月1日~2015年3月31日)

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	83,500	1,300	1,150	350	13.49円
今回発表実績(B)	82,691	972	248	1,025	39.53円
増減額(B-A)	809	328	902	675	-
増減率(%)	1.0	25.2	78.4	-	-
(ご参考)前連結会計年度実績(2014年3月期)	75,174	875	2,607	280	10.80円

・差異が生じた理由

当連結会計年度の業績は、海外事業につきましては、欧米を主力市場とするローター社の業績は厳しい状況で推移し、国内事業につきましても、円安により、海外から調達している主原料価格の上昇が続き、製品価格への転嫁に努めたものの、厳しい状況が続きました。その結果、売上高、営業利益につきましては、前回の予想を下回りました。

また、経常利益につきましては、後述の「営業外費用(為替差損)について」に記載の通り、為替差損を営業外費用に計上したため、前回の予想を下回りました。

当期純利益につきましては、後述の「特別損失について」に記載の通り、減損損失を計上したため、前回の予想を下回り、当期純損失の赤字幅拡大となりました。

・ 営業外費用（為替差損）について

昨今の為替相場の変動により、2015年3月期業績において、為替差損を連結610百万円、個別1,118百万円、営業外費用に計上いたしました。これは、主に2015年3月期期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

・ 特別損失の計上について

1．特別損失の内容

(1) 連結

当社および当社の連結子会社1社におきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて、固定資産の減損損失452百万円を計上いたしました。

(2) 個別

当社の連結子会社1社の事業の将来収益、キャッシュ・フロー見直しを見直した結果、関係会社事業損失260百万円を計上いたしました。

2．業績に与える影響

上記の(1)につきましては、本日開示しております連結業績に計上しております。また、(2)につきましては、個別業績に計上しておりますが、連結決算上、消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上